



高円宮牌 2013ホッケー日本リーグ【男子】 第 1 節 第 1 日

開催日時 4 月 13 日（土） 会場 山梨学院ホッケースタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合	岐阜朝日クラブ	3	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 3 - 2 \end{pmatrix}$	3	天理大学ベアーズ
第2試合	立命館大学ホリーズ	3	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0	東京農業大学
第3試合	名古屋フラーテルホッケーチーム	5	$\begin{pmatrix} 3 - 1 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	1	山梨学院 OCTOBER EAGLES
第4試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

岐阜朝日クラブ 3 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 3-2 \end{pmatrix}$ 3 天理大学ベアーズ

勝点 1 勝点 1
0 勝 1 分 0 敗 0 勝 1 分 0 敗

＜得点＞
岐阜朝日：52分百成、52分服部、67分百成
天理大学：2分松村、45分膳棚、48分瀧澤

＜戦評＞
開始早々、天理大学ベアーズの早い正確なパス回しから、積極的に攻撃を仕掛ける。2分、天理大学は岐阜朝日クラブのクリアミスのをカットし、FB#4松村が冷静にシュートを決め、先制点を挙げる。その後、岐阜朝日のペースで試合は進ものの、天理大学GK#1井川が好セーブをみせ、得点を許さない。45分、天理大学はPCからFB#2膳棚が豪快なプッシュで右上のネットを揺らす。48分にもMF#19瀧澤がタッチを決め点差を広げる。岐阜朝日も負けじと相手陣地に攻め込み、51分、PCでFB#3百成が力強いプッシュでゴールを決める。岐阜朝日の勢いは止まらず、53分、FW#10服部がヒットで得点する。67分、PCで再び#2百成がゴールを決め、3-3で終了する。

テクニカルオフィサー	倉島 勇	アンパイア	細川祐司
ジャッジ	清水恭子、櫻本千恵子		渡辺道彦

第2試合

立命館大学ホリーズ 3 $\begin{pmatrix} 3-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 東京農業大学

勝点 3 勝点 0
1 勝 0 分 0 敗 0 勝 0 分 1 敗

＜得点＞
立命館大：14分河野、20分森、32分河野
東京農大：

＜戦評＞
立ち上がりから、立命館大学ホリーズは巧みなパス回しで東京農業大学のDF陣を崩していく。14分、立命館大FB#23木下がシュートを打ち、東京農大GK#13氏家に止められるが、MF#20河野がリバウンドを決め先制する。その後、20分、立命館大はを獲得し、FW#11森が左隅に決め2-0とする。勢いを止めない立命館大は、32分、#20河野がヒットでシュートを決め、3-0で前半を折り返す。後半戦も立命館大のペースで試合が進む。48分、56分、57分と立て続けてPCを得るが得点には繋がらない。東京農大も61分にPCを獲得するも立命館大の堅い守備に阻まれ決め切れない。両者共に決定的なチャンスをものにする事が出来ず、試合は3-0で立命館大が勝利する。

テクニカルオフィサー	真 喜代司	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	市村美幸、清水恭子		児玉 茂樹

第3試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 5 $\begin{pmatrix} 3-1 \\ 2-0 \end{pmatrix}$ 1 山梨学院 OCTOBER EAGLES

勝点 3
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 1 敗

＜得点＞

名古屋F :

山梨学院：

＜戦評＞

開始早々、名古屋フラーテルホッケーチームが早いパス回しから相手のミスを誘い、6分にPCを奪う。それをMF#17橘が強烈なプッシュを決め先制点を挙げる。続く11分には、MF#11川上がタッチシュートを決め2-0とする。その後も細かいパスで攻撃を続け、16分、FW#10山部が3点目を決める。前半終了間際、山梨学院 OCTOBER EAGLESの がサークル内に打ち込むと、名古屋FのDFがオウンゴールし、3-1で折り返す。後半は、38分に名古屋F FW#12吉原にイエローカード、40分に山梨学院MF#23朝倉にグリーンカードが課せられ、両者ともに激しい攻防が続く。49分、名古屋F FB#13山下のセンターリングに#11川上が合わせ、タッチで決める。山梨学院も粘りを見せるが、チャンスをものにする事が出来ない。名古屋F#17橘が追加点を挙げ、5点目とし、そのまま5-1で逃げ切る。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	倉島勇、櫻本千恵子		木下 英貴

FAX送信枚数 4枚(この用紙を含む)

■■■■■

ホッケー日本リーグ機構 事務局 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内 TEL 03-3481-2330 FAX 03-3481-2329	<u>本件に関するお問合せ先</u> 埼玉ホッケー協会事務局 連絡者氏名 青田 精一 携帯TEL 080-1183-0754
--	---

開催日時 4 月 13 日 (土) 会場 飯能市阿須ホッケ一場 天候 晴れ

第1試合 11:30	福井クラブ	4	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 3 & -1 \end{pmatrix}$	1	法政大学
第2試合 13:10	小矢部RED OX	9	$\begin{pmatrix} 3 & -1 \\ 6 & -2 \end{pmatrix}$	3	診療印刷
第3試合 14:50	アルダー飯能	0	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	1	セルリオ島根
		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

福井クラブ 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 法政大学

勝点 3
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

福井ク : 25分: #2為国、37分: #5川端、38分: #10三谷、70分: #2為国

法政大 : 45分: #16松本

<戦評>

福井クラブのセンターパスから本日の第1試合が開始された。
前半は福井クラブが試合を優勢に進め、PCなどでチャンスを作るものの、法政大学GK新本の好セーブに阻まれ得点には至らない。法政大学もPCを得るが、得点することができない。その様な中、25分福井クラブのPCから#2為国がディフェンス2人をかわしゴール右上へシュートを決め、先取点を挙げた。その後、両チームともチャンスはあったが、得点には至らず1-0で前半を終えた。
後半に入り、37分福井クラブがPCから#5川端がゴールを決め、その後立て続けに38分、福井クラブ#10三谷がフィールドゴールを決め3-0となった。その後、法政大学は45分#13吉村のセンタリングから#16松本がタッチシュートを決め3-1とする。攻防が続く中、70分福井クラブがラストプレーとなったPCで#2為国がフリックシュートを決めて4-1で福井クラブの勝利で試合終了となった。

テクニカルオフィサー	鯨井 暢	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	北島 学・大野 隆司		元宗 宏寿

第2試合

小矢部RED OX 9 $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 6 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 診療印刷

勝点 3
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

小矢部 : 13分: オウンゴール、25分: #5高嶋、34分: #10早田(佳)、37分: #14早田(吉)、40分: オウンゴール、46分: #6河合、51分: #6河合、52分: #14早田(吉)、65分: #6河合

診療印刷 : 34分: #14大巻、63分: #15細木、67分: #4諏訪

<戦評>

小矢部RED OXのセンターパスで試合が開始された。13分小矢部は相手のオウンゴールにより先制をした。その後25分#5高嶋のFGIにより2-0となった。診療印刷は、34分にPCを#15細木のヒットから#14大巻がタッチシュートを決めた。しかし、同34分に#10早田(佳)のFGIにより3-1となって前半を終了した。後半開始から小矢部が怒涛の攻勢を見せる。まず37分#早田(吉)のFGIにより4-1とし、相手のオウンゴールとPCで#6河合のタッチシュートで2点を追加し6-1とした後、51分小矢部がPSを獲得し#6河合が決めて7-1として、その後も攻勢を強めた小矢部が1点を追加して8-1と診療印刷を突き放した。63分診療印刷がPCを獲得し、#15細木が決めて8-2としたが、小矢部は65分#6中込がFGを決め9-2とした。診療印刷も67分にPCを獲得し、#4諏訪が豪快にフリックシュートを決めて9-3としたが、その後も試合は小矢部優勢に進み9-3で小矢部が勝利した。

テクニカルオフィサー	千野 雅人	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	大野 隆司・竹内 芳郎		野澤 達

第3試合

アルダー飯能 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 セルリオ島根

勝点 0
0 勝 0 分 1 敗

勝点 3
1 勝 0 分 0 敗

<得点>

飯能 :

島根 : 30分:#12植田

<戦評>

アルダー飯能のセンターパスで試合が開始された。飯能が優勢で試合を進めるが得点には至らない。一進一退の攻防が続く中、30分島根がPCで#21高橋のシュートをキーパーが弾いたところを#12植田が押し込み先制し前半が終了した。
後半開始直後、飯能が立て続けに2本のPCを獲得するも、ディフェンスとキーパーの好セーブに阻まれ得点をする事ができなかった。その後も両チームチャンスを作るも得点には至らず68分に飯能がPCを得るも活かすことができず、そのまま島根が逃げ切る形で0-1で勝利した。

テクニカルオフィサー	鯨井 暢	アンパイア	小原 直也
ジャッジ	竹内 芳郎 / 北島 学		成田 健一